

フリーランスの

ワークেশョン

実態調査

〈調査主体〉 美しい伊豆創造センター
〈調査協力〉 フリーランス協会

 プロフェッショナル&パラレルキャリア
フリーランス協会

行った？

どこ行く？

誰と行く？

何が大事？



■ 調査概要

調査期間：2023年2月1日（水）～ 2月26日（日）

調査方法：オンラインのアンケート調査フォームによる回答収集

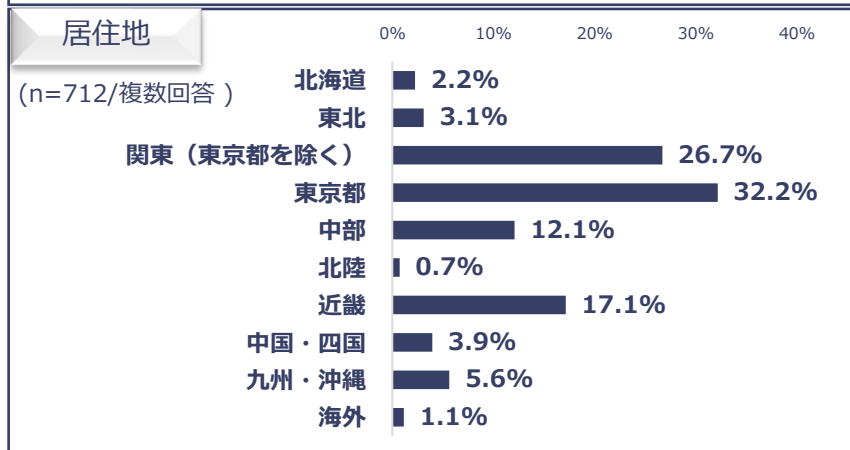
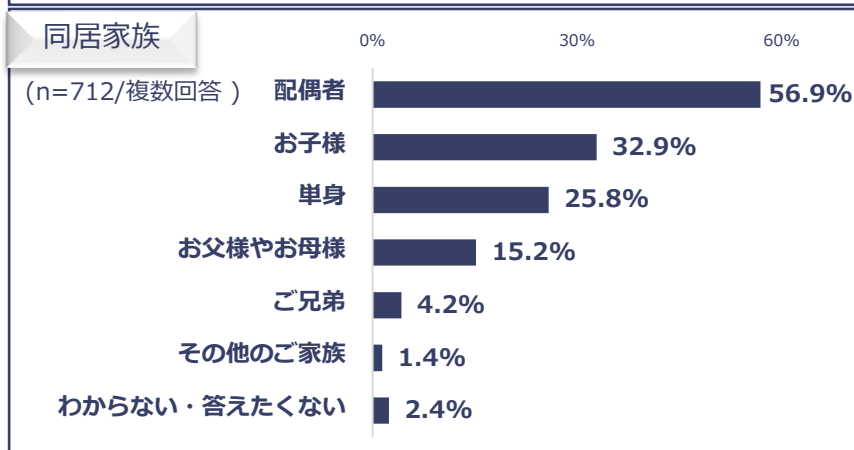
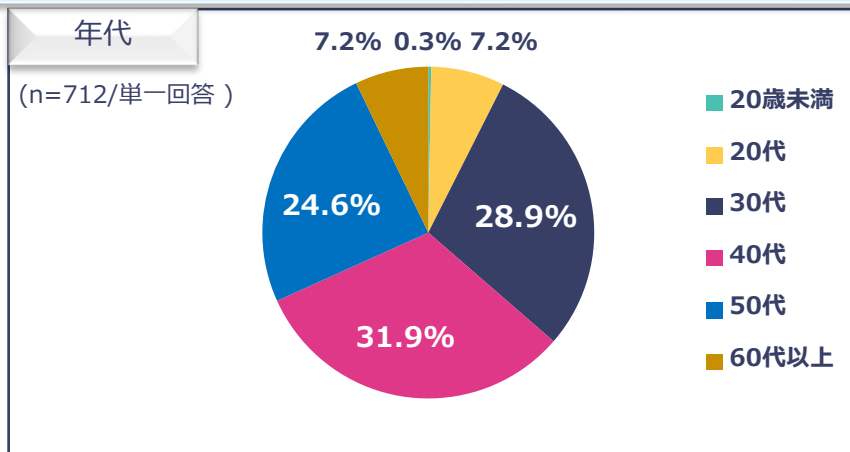
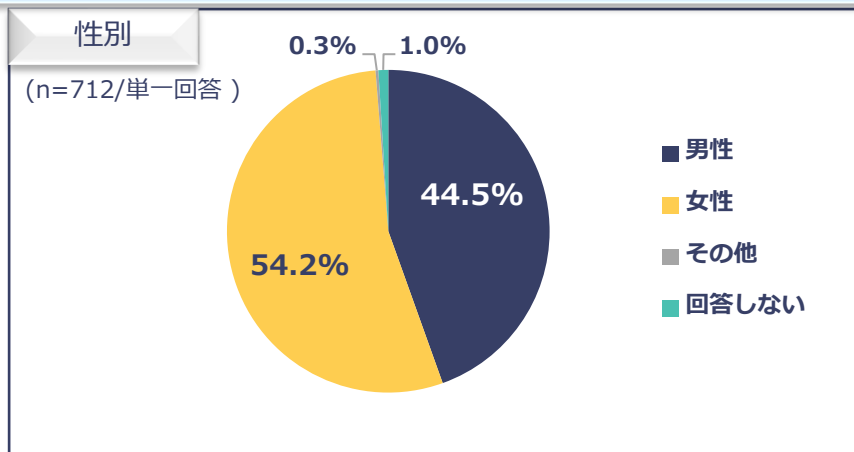
告知方法：フリーランス協会メールマガジン・公式SNS

有効回答数：760名

調査主体：一般社団法人美しい伊豆創造センター

調査協力：一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会

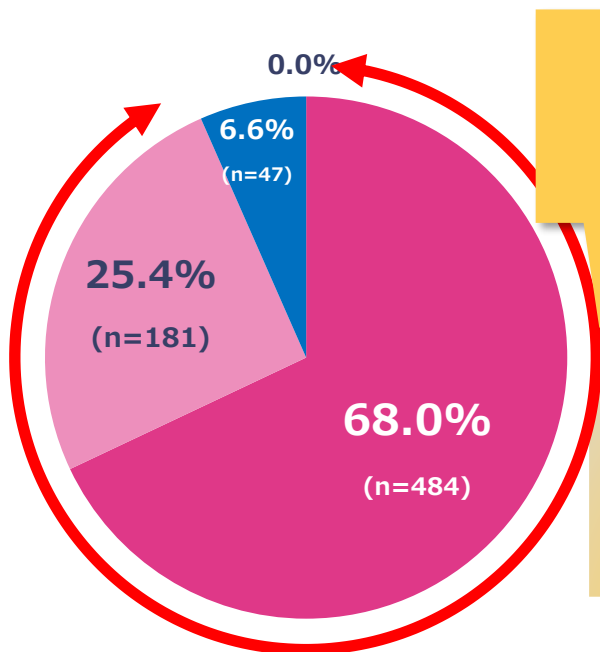
回答者属性



「ワークेशन」という言葉の認知率は約9割で、認知者うち実施経験者は約3割あった。
 ただ、インタビュー調査の結果、以前から旅行先にPCを持参して仕事をしたり、仕事が煮詰まって気分転換のために場所を変えて仕事をしたりしていたので、これが今話題の「ワークेशन」該当するのかわからなかったという意見も多く聞かれたため、**実際の実施率は3割を大きく超えるものと思われる。**

「ワークेशन」の認知率 (n=712/単一回答)

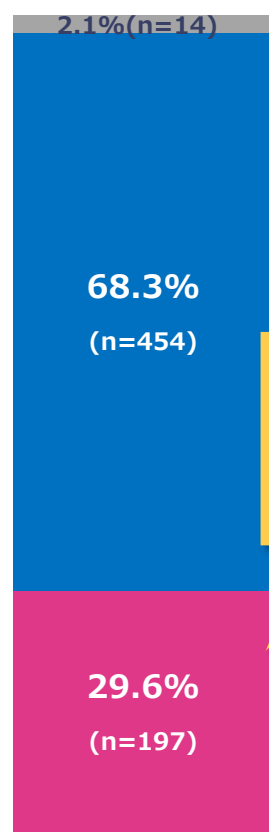
ワークेशन認知者の実施率 (n=665/単一回答)



- 内容についても理解している
- 言葉自体は知っている (聞いたことがある)
- 聞いたことはない
- その他

認知率
9割

認知者
n=665



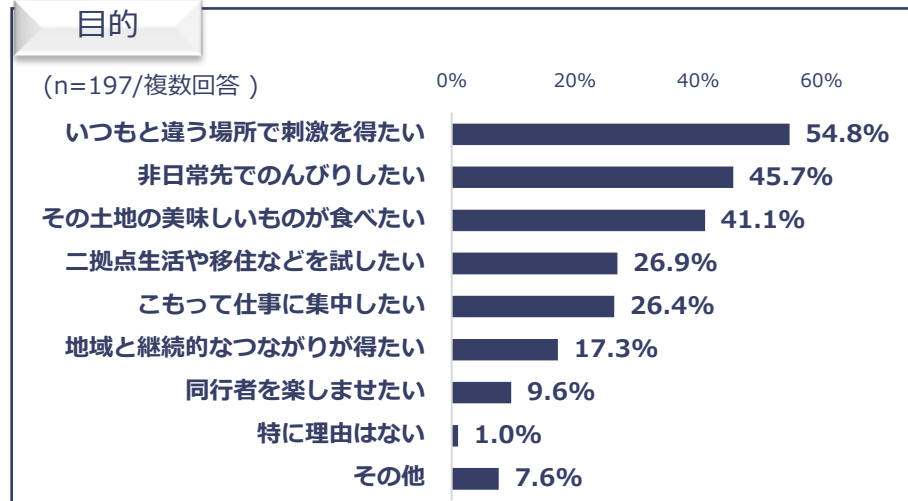
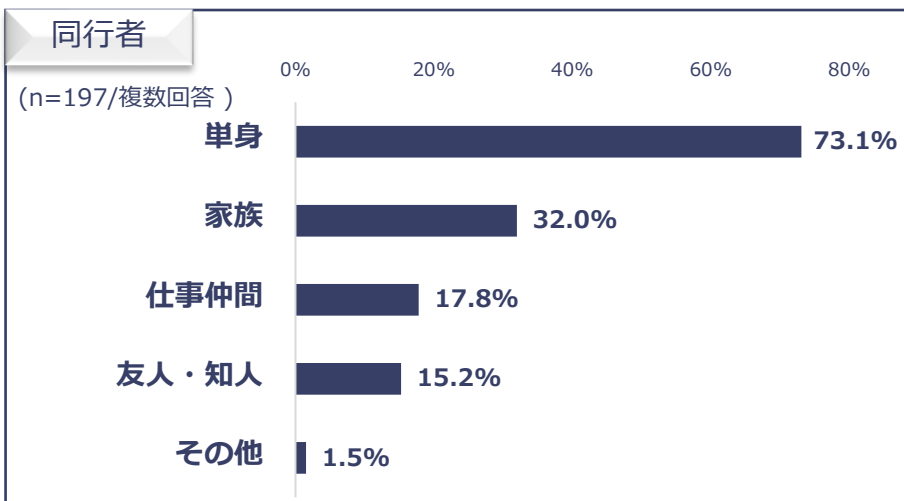
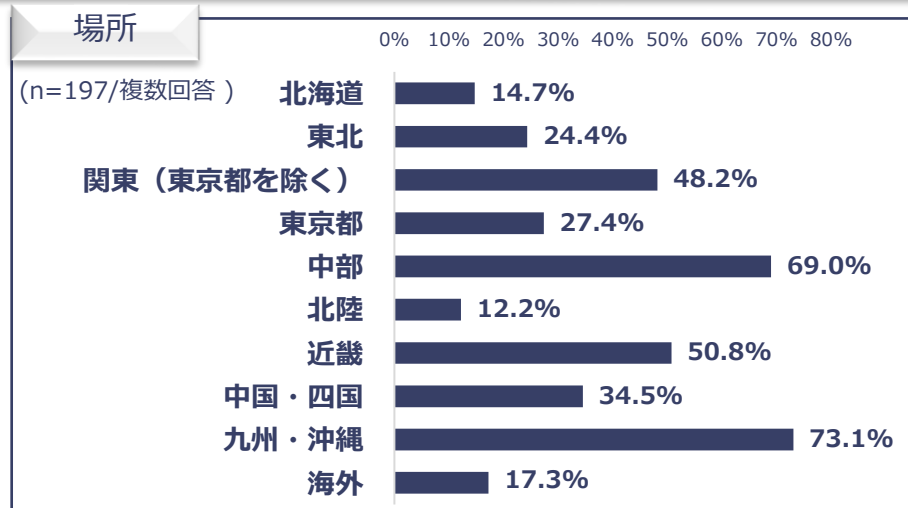
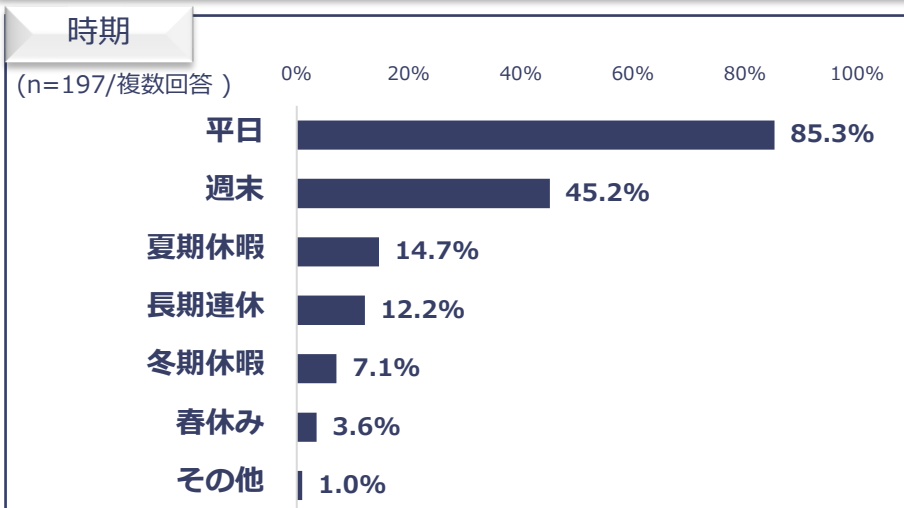
実施率
3割

■ ある ■ ない ■ わからない・答えたくない

ワークेशनを実施した時期は「平日」が8割、「単身」で実施した回答者が7割を超えた。

実施した場所は九州・沖縄地区がもっとも多く、7割となった。実施目的は「いつもと違う場所で刺激を得たい」が半数を超えた。「二拠点生活や移住などを試したい」も3割弱であった。

実施実態



今後のワーケーション実施意向は8割。同行者については、「単身」が6割、「家族」が3割であった。
ワーケーションについての情報を調べる方法は、検索やメディアだけでなく、施設や観光協会、自治体のホームページから発信される、鮮度の高い公式情報を求めていることがわかった。

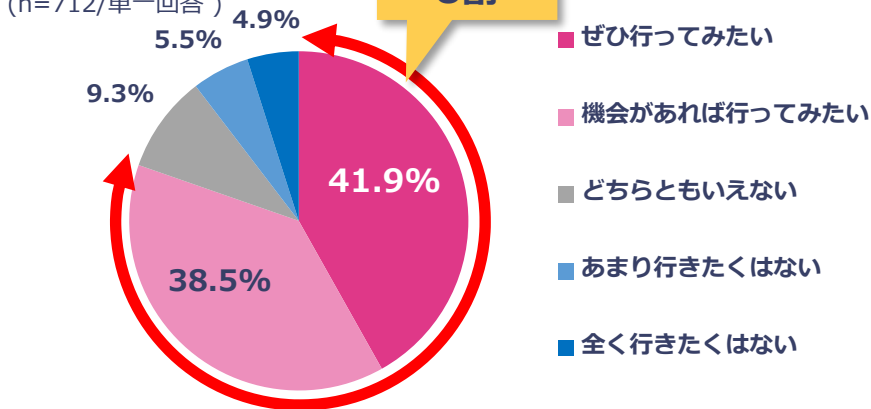
今後のワーケーションについて

実施意向

(n=712/単一回答)

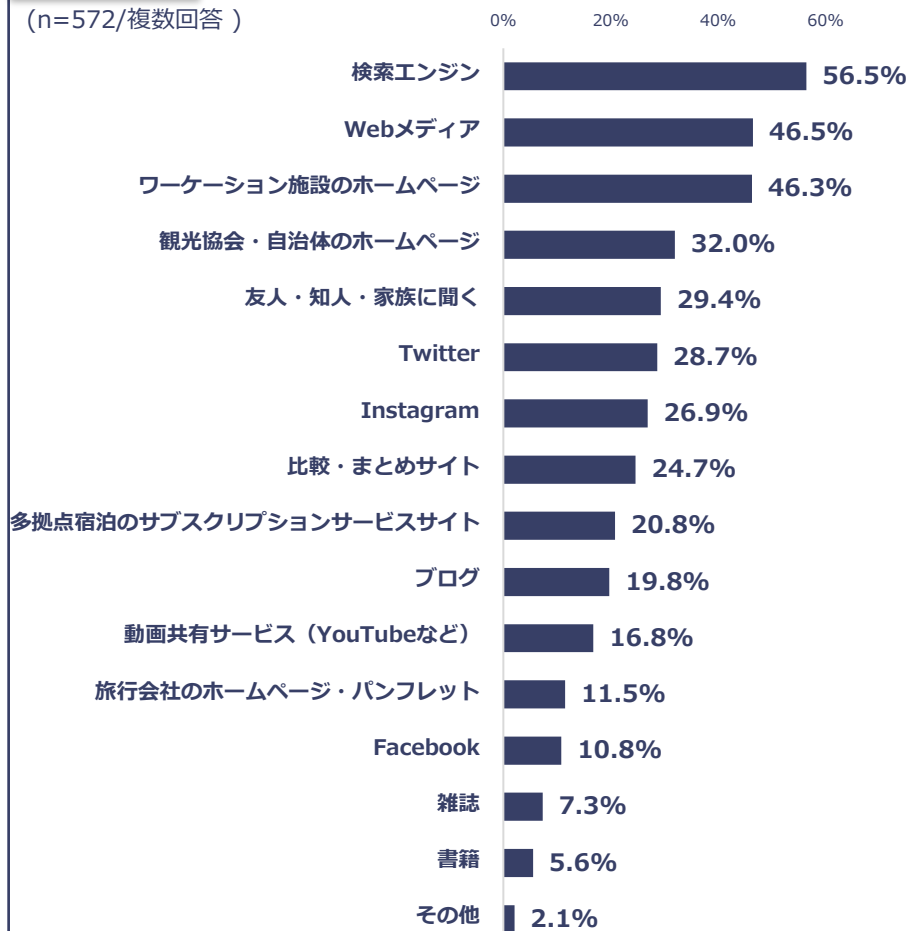
実施意向度

8割



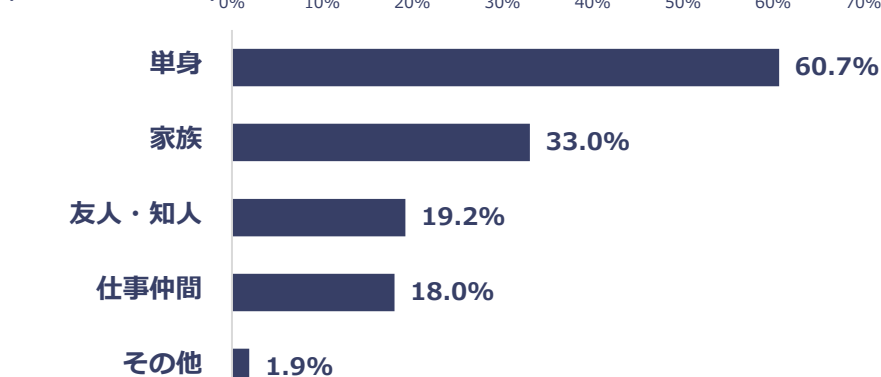
情報源

(n=572/複数回答)



希望同行者

(n=572/複数回答)



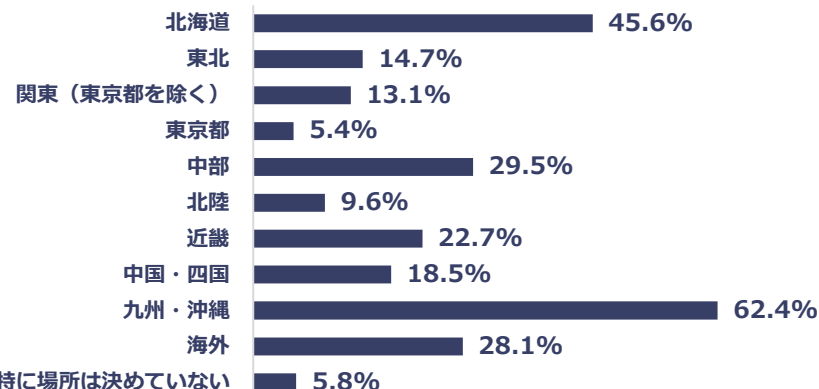
ワーケーション経験者の【これまでの行った場所】と、【これから行きたい場所】についてみると、コロナ禍で物理的な移動が制限されていた影響もあったためか、【これまでの場所】では首都圏近郊が上位を占めていた。一方、【これから行きたい場所】には「北海道」「沖縄県」「海外」と、移動時間はかかるが非日常感を味わえる場所が上位を占めた。

ワーケーション場所

これから

(n=712/複数回答)

0% 20% 40% 60% 80%

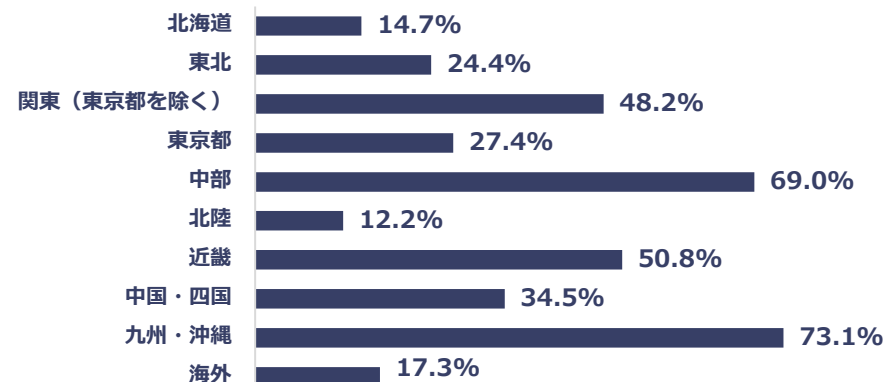


これまで

※再掲/ワーケーションに行ったことがある回答者

(n=197/複数回答)

0% 20% 40% 60% 80%



順位	ワーケーションに行きたい場所（3つまで）	回答数	割合
1	北海道	261	45.6%
2	沖縄県	227	39.7%
3	海外	161	28.1%
4	長野県	72	12.6%
5	京都府	61	10.7%
6	静岡県	44	7.7%
7	福岡県	40	7.0%
8	神奈川県	33	5.8%
9	東京都	31	5.4%
10	石川県	30	5.2%

順位	ワーケーションに行ったことがある場所（複数回答）	回答数	割合
1	東京都	54	27.4%
2	静岡県	51	25.9%
3	神奈川県	48	24.4%
4	沖縄県	42	21.3%
5	福岡県	34	17.3%
6	海外	34	17.3%
7	大阪府	30	15.2%
8	北海道	29	14.7%
9	京都府	29	14.7%
10	長野県	27	13.7%

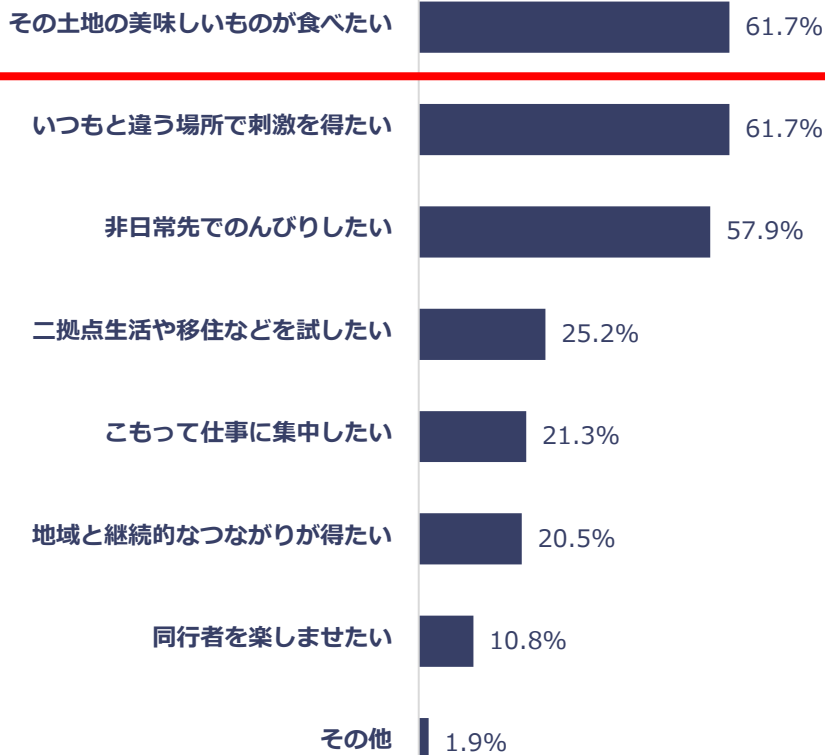
ワーケーション経験者の【これまでの目的】と、今後行いたい【これからの目的】についてみると、【**これからの目的**】では「**その土地の美味しいものが食べたい**」の割合が大きく増えていることがわかった。移動先での飲食については、コロナ禍で大きく制限がかかっており楽しむことが難しかったためと推察される。

ワーケーション目的

これから

(n=712/複数回答)

0% 20% 40% 60% 80%

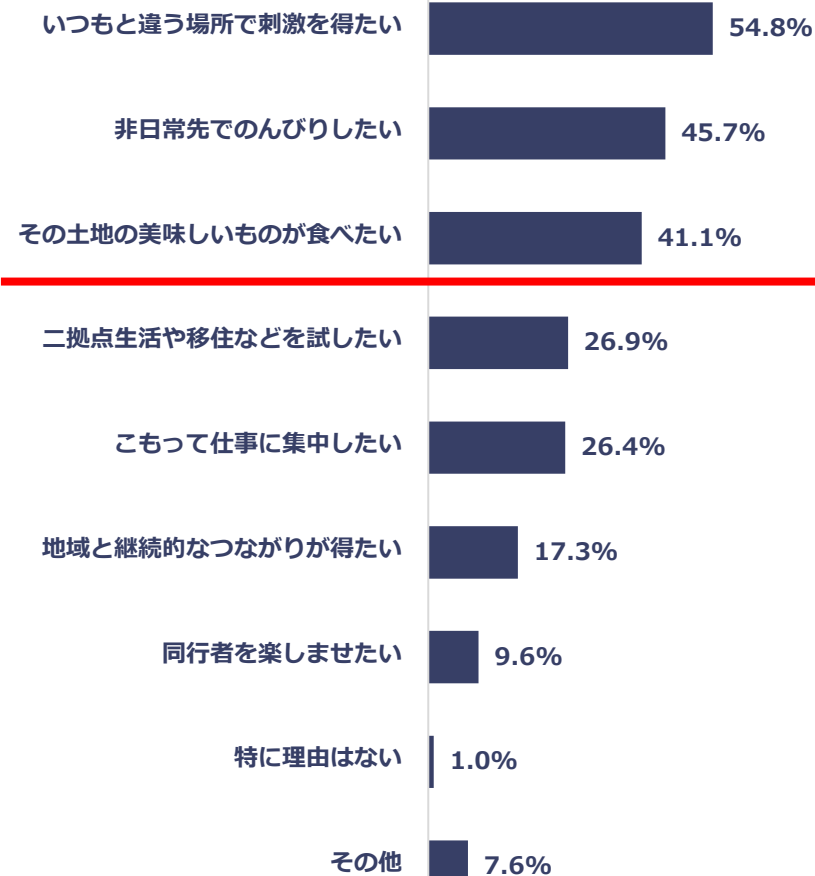


これまで

※再掲/ワーケーションに行ったことがある回答者

(n=197/複数回答)

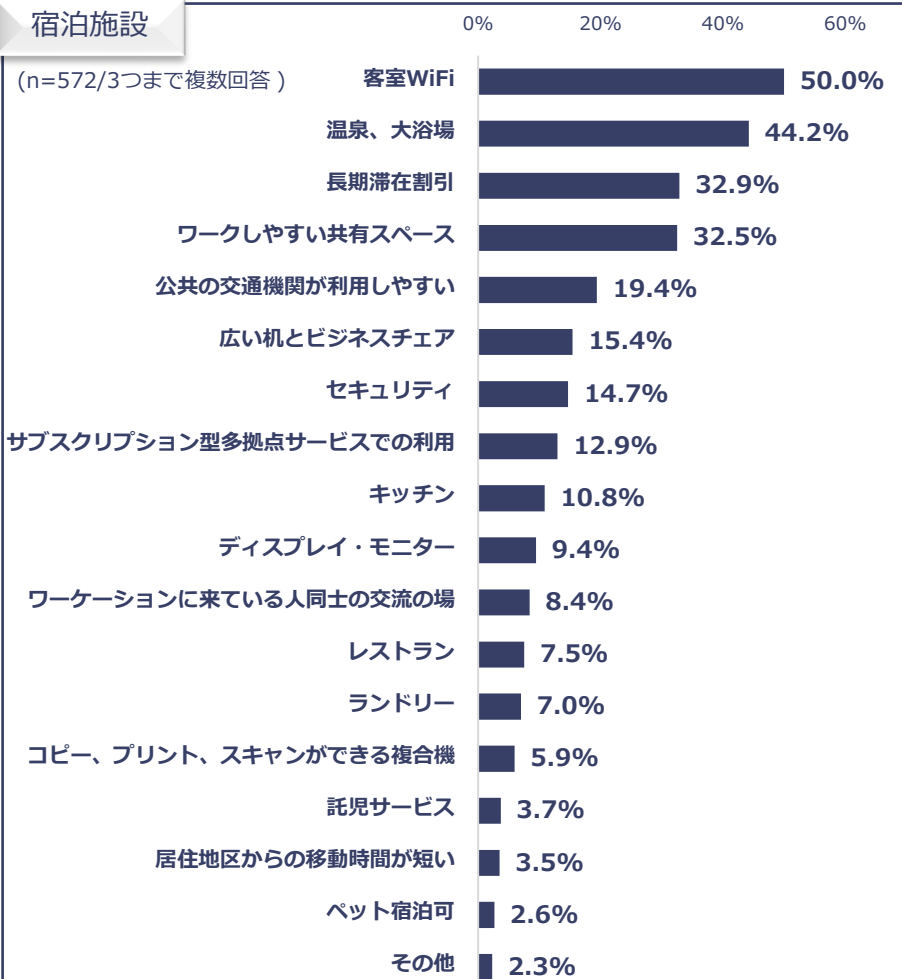
0% 20% 40% 60% 80%



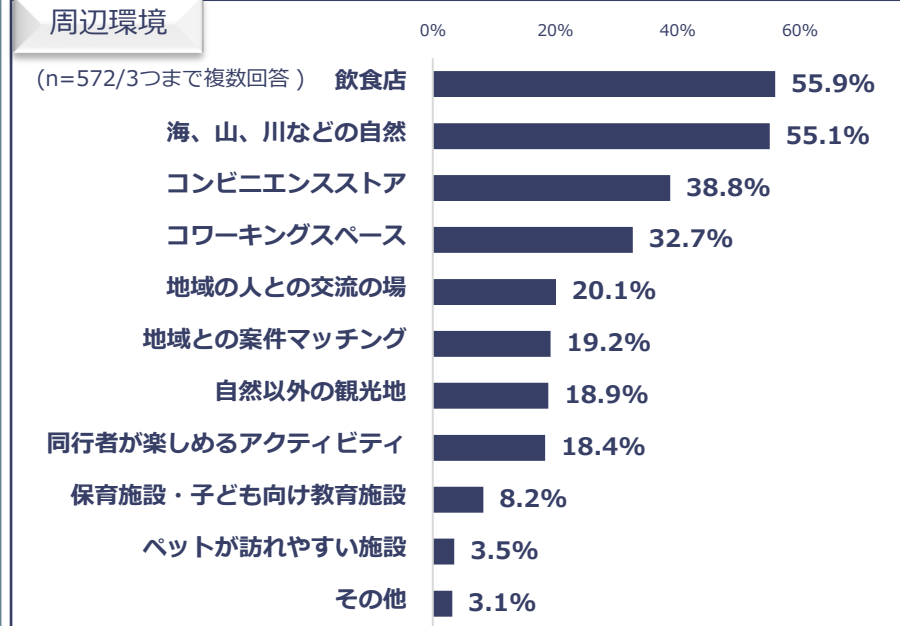
宿泊施設に求めるものはWi-Fiや共有スペース、机やイスなどの仕事に適した設備はもちろんのこと、「温泉、大浴場」といった日中以外にも楽しめるアクティビティに対するニーズも高いことがわかった。さらに設備などのハード面だけではなく、「長期滞在割引」などソフト面も重要していることがわかった。

重視事項

宿泊施設



周辺環境



- ・ 午前中にMTGが入ることが多いので、**12時チェックアウト**だとチェックアウトだと優先度高まります。最低でも11時、10時のものはよっぽど気に入らないと選ばないです。
- ・ 常連ではない人でも**気軽に交流できるような場所やイベント、講座**などがあると嬉しいです。
- ・ **カーシェアリング、格安レンタカー**
- ・ シェアライドなどの**現地での公共交通以外での移動手段**
- ・ 移動しながら会議に出たりするので、**周辺のネット環境**も重要
- ・ 国の観光促進施策として、**旅費が経費として計上**できるなら、もっと積極的に利用したい。

フリーランスのワーケーションにおける仕事と観光の理想バランスは、ワーク重視が40%、ワークとバケーション半々が38%、バケーション重視は21%となり、**ワークに対する比重が大きい**ことがわかった。

ワーケーションの理想バランス

(n=572/単一回答)

